

④ 第3学年 道徳 科学習指導案

学習指導者 P グループ

1 単元名 マイクロアプレッションを理解する

2 授業について (ねらいや付けたい力、工夫点等)

・思い込みや悪意のない言動が相手を傷つける可能性があることを理解し、自分の言動を疑う姿勢の大切さを学ぶ。

3 単元構成

- ・ アシコンパスバイパスに気づく 1時間
- ・ マイクロアプレッションを理解する 1時間 (本時)
- ・ 「男女共同参画ポスター」の作成をする 1時間
- ・ 差別をなくすための行動案を考える 1時間

4 本時の学習指導

(1) 目標 参加型学習を通して、マイクロアプレッションを捉えることができる。

(2) 学習指導過程

学習活動	予想される子どもの反応	
1. アシコンを遊ぶ (15分)	・ OOさんと好きなことが一緒だ。 ・ プシと猫派が半分に分かれている。 ・ おにぎりの具の好きなものが面白い。 ・ (同じ)は3つ違うところも思ってたよりたくさんある。	・ 各組にA4用紙を1枚ずつ配り、各組の同じ所、違う所を挙げてみる。 ・ A4用紙を半分に折り、片側に自分の班の同じ所を書き、もう片側に違う所を書く。おん、各組の最もユニークな意見と黒板に書いて共有する。
2. 自分の中の感覚を知る。 (15分)	・ 自分は悪意がないと思うな。 ・ これは悪意なく言ってるし、たこことある。 ・ これは絶対に悪意あるよ。 ・ 実際に言われたことがあるぞ。 ・ 言い方に問題があるかも。	・ ワークシートを配り、この言動に悪意があるか無いかを考えて、自分の意見の通った部分に丸をつけてみる。 ・ なせその部分に丸がついたのかをみる。その後、周囲の人と意見と交流させる。何人かに発表させて、全体でも共有し、各々で考えが違うことに気づかせる。
3. ワラシの心の境界線を知る。 (15分)	・ 迷うけれど、「会ったこと、女だちに嫌われたかな」と思ふ。 ・ 自分から話しかけたら、会ったこと、女だちに嫌われたかなと思ふ。 ・ 自分から話しかけたら、会ったこと、女だちに嫌われたかなと思ふ。 ・ 自分から話しかけたら、会ったこと、女だちに嫌われたかなと思ふ。	・ 1つの場面を設定し、それを黒板に見せて、段階別に分けて、シール等で自分の意見を発表させる。 ・ 入によって思っている所は違ふよ、と上記の結果や他にいくつか例を挙げて心の境界線は人それぞれであることを説明する。
4. 感想/振り返り (5分)	・ 自分が悪意を持っていたとしても、相手が嫌はるとは思わなかった。 ・ ランセリ言ってしまうこともあつた。気づいて、今日の授業の内容で「マイクロアプレッション」というんだな。 ・ 言い方、言われる方には気をつけよう。 ・ 悪意がなくても、人を傷つけた。差別に70対30だから、自分の言葉や行動がえりかえる習慣をつけたい。	・ 本時の学習について感想/振り返りをさせる。何人かに当てて発表させる。

「もうあかり日本人でいい」
悪意がある